

【例題－警察官 A 4】

日本の安全保障をめぐる近年の動向に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア. 特定秘密保護法が成立した。この法律に基づき、防衛などに関する重要機密情報が特定秘密に指定され、特定秘密を漏洩した公務員は厳しく処罰されることとなった。
- イ. 日米防衛協力のための指針（ガイドライン）が改定された。新ガイドラインでは、日米が防衛協力を行う地理的範囲を世界全体から日本周辺に狭めることが示された。
- ウ. 安全保障関連法が2015年に成立した。これにより、「存立危機事態」の発生などの新3要件の下、集団的自衛権の限定行使が可能となった。
- エ. 尖閣諸島と竹島についてそれぞれ中国と韓国が領有権を主張しているが、日本はこれらの島々を有効に支配しており、その支配を確実なものとするため、警備に当たる公務員を常駐させている。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, エ

(正答) 2